

泉学区まちづくり推進委員会

委員長 山岡 英樹

（問合せ先） 084-951-1557（泉交流館）

## 事業内容

- |                      |            |
|----------------------|------------|
| (1) 成人一般のための学習講座     | (7月4日ほか)   |
| (2) 通学路の安全確保         | (通年)       |
| (3) まちづくり活動活性化事業     | (6月5日ほか)   |
| (4) スポーツ大会・講習会       | (11月13日ほか) |
| (5) ボランティア活動（乳幼児・親子） | (5月11日ほか)  |
| (6) 防災関係事業           | (11月20日ほか) |
| (7) コミュニティ育成         | (通年)       |
| (8) 環境啓発・美化活動        | (通年)       |
| (9) 城西校区人権学習講座       | (9月～11月)   |
| (10) まちづくり推進委員会運営活動  | (通年)       |



成人一般のための学習講座（干支の置物づくり）



防災訓練

## 成果

- ・コロナが終息に向かう中、さまざまな事業を再開でき、地域の絆を深めることができた。
- ・環境美化活動は、フラワーロード三本松だけでなく、グリーンカーテンの取組など学区内に広がってきた。

## 課題

- ・町内会未加入世帯の増加や高齢化・少子化などの問題があり、町内会コミュニティのあり方を考慮する必要がある。
- ・行事への参加者の固定化・高齢化により減少傾向にある。行事内容を検討し、より多くの学区民が参加できるよう取り組んでいる。

## 課題解決にむけて

- ・まちづくりミーティングで出された意見をもとに、課題解決にむけ具体的な取組をしていく。

# “ひまわりプロジェクト”で 地域の活性化をめざす

“いずみまちづくりミーティング”からの提案

「地域活性化事業」の一環として  
耕作放棄地対策・鳥獣被害軽減を目的に



2021年2月に「泉学区まちづくりミーティング」を開催し、地域活性化に向けて様々な意見が検討されました。

ひまわり畑耕作前の耕作放棄地だったころの田んぼ

その中で、耕作放棄地が増加して鳥獣被害も多発しているとの意見で、耕作放棄地の草刈りを行うことにより鳥獣被害も減少し景観も良くなるとの話し合いがなされました。

2022年春、耕作放棄地に“ひまわり”を植える「ひまわりプロジェクト」発足となりました。地域の耕作放棄地600㎡の田んぼを借り受け、地元の有志で草刈り、トラクターでの耕作畝立てをし、6月4日にみんなで種まきを実施しました。

広く地域に呼びかけて参加を募り、子どもから大人まで約50人が集まりました。



3時間かかって約6,000個の種を蒔くことができました。幼稚園の園児の皆さんも種まきに参加して、大変喜ばれました。



# 山間の田んぼがお花畑に



8月10日（種蒔きから66日）満開となり、花丈も2メートルを超えるくらいの大輪のひまわりが夏の太陽に向かって咲き誇っていました。

満開のひまわり見学や写真撮影に訪れる方も見かけました。

満開の期間は10日くらいでしたが、近くの県道を通る車窓からも見る事ができ、グリーンの中に大輪の黄色い花が目を引きました。

9月17日有志によりひまわりと草の刈り取り、種の採取を実施しました。刈り取ったひまわりや草はシュレッターで細かくして、畑に蒔きました。草の刈り取りが大変だったのには予想外でした。

また、種の採取も大変でしたけれど、約10kgの種を取ることができました。乾燥して来年また蒔きたいと思います。

来年は雑草対策をしっかりと種まきができたらと構想を練っています。また、近隣の耕作放棄地の地主の方から放棄地の貸し出しの依頼もあり、来年度はもう少し広いひまわり畑に挑戦したいと考えています。

これからも皆様のご協力よろしくお願いします。

